

認知症作業療法 活動報告 (概要)

これまでも報告したように、香川県作業療法士会では香川県や各市町からの依頼を受け、健康ステーション健康長寿講座や認知症予防講座に継続的な県士会員派遣を行っている。健康ステーション健康長寿講座は、高齢者にかかわる総合的な健康をテーマに行われており、認知症に関するテーマは非常に関心が高く、作業療法士による講座は毎回好評を得ている。人材育成としては、香川県長寿対策課とともに、**2016**年から認知症初期集中支援員養成事業を、初期集中支援に限らず広く地域実践につなげるため、認知症ケア人材育成研修補助事業として実施している。また、香川県からの委託事業として、**3**団体協力のもと、認知症予防キャラバン事業として、県民に対する普及と啓発、予防に取り組んでいる。

認知症ケア人材育成研修補助事業

県からの補助を受け、昨年度まで認知症初期集中支援員養成研修会を実施しました。本年度から認知症アップデート研修を基礎研修に位置づけ、実践者研修、修了者研修と段階を踏む、認知症ケア人材育成研修として実施しています。基礎研修受講者を対象とした実践研修をすでに開催し、**22**名の参加があり修了証を発行しました。修了者研修は**12**月に開催予定です。初期集中支援に限らず地域への実践につなげられるよう、今後も講師の助言を受けて進めていく予定です。



健康ステーション健康長寿講座

高松市からの依頼で、高松市健康ステーションにおいて、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等の専門職が健康・介護予防に関する講座をおこなっている。参加者からは「健康への意識が高まりました」、「作業療法士の仕事内容が理解できました」などの嬉しい声を頂いている。



認知症予防キャラバン事業

県からの委託事業として作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会のリハ職3団体が協力し、県民の皆さまに「認知症予防キャラバン事業」を実施している。地域の自治会や老人会に派遣され認知症予防の知識の説明と運動を実際に体験いただき、地域住民には大変好評な事業である。昨年度は県下で約**80**件の依頼があり、今度も概ね**80**件前後の派遣を予定している。リハビリ専門職を対象にした認知症予防運動指導者養成研修会を年**2**回開催し、専門職の認知症予防運動に対する知識・技術の向上にも努めている。



今後の展開

- ・ 今後も継続的な県や市町との協業により地域に根差した活動を継続
- ・ 地域のニーズに応えられるために、人材育成研修をさらに高めていく
- ・ 地域からの要請があった時、素早く動ける体制作りと会員へのバックアップ